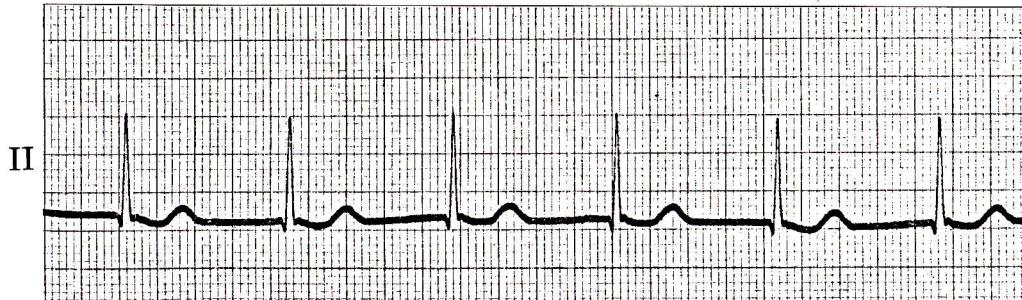


症例 20

●70歳 男

易疲労感、低血圧のため入院。入院時下図のような心電図を呈した。



- 1) P波が認められないが、リズム診断は。

心電図診断

房室接合部調律

QRS 幅0.06秒、心拍数71/分。

QRS 波には先行P波がない。

解 説

QRS 幅が狭く、房室接合部調律である。

QRS波の直後に小さなフレ(↓)が見られるが、これは洞性P波の一部である。

房室接合部の自動能が高まり、洞結節の刺激生成頻度をわずかに超えたため、房室接合部性のQRS波がP波の前にでたものである(等頻度房室解離)。

